

は全額負担しなければならぬ。「こども夢基金」を活用し、卒園した第1子が小学校3年生ぐらいになるまで猶予期間を設けて、保育料を無料のまま過ごすことはできないのか。長崎県内の市や町でも同様の取り組みが始まっているため、本市においても、取り組みべきである。

**A** こども夢基金については、モーターボート競走事業の収益の動向が大きな鍵を握るため、毎年度の財政事情や夢基金の活用方法など総合的に判断する必要がある。このため、夢基金の活用を前提とした新たな取り組み等については、現時点で答えることはできないが、一つの提案として受け止めたい。

### 産業・経済・労働

#### こども未来館・市民交流プラザと商店街

伊川 京子 議員

**Q** 平成26年11月にオープンしたこども未来館と市民交流プラザの利用状況はどうか。市民交流プラザの大きな役割は、2核1モール構想の拠点であり、アーケード街に人の流れをつくり、まちを活

性化させることにある。商店街との連携がなければ実現しえないことと考えるが、現在の取り組み状況はどうか。

**A** 今年8月末までの市民交流プラザの利用者は約23万人で、そのうち、こども未来館は約6万6,000人である。また、商店街との連携については、中心市街地活性化基本計画の2核1モール構想のコンセプトに基づき、昨年から大村市や商工会議所等の4者で中央商店街モール連絡協議会を発足し、イベントの連携等に取り組んでいる。

#### 住宅リフォーム補助金の追加補正を！

大崎 敏明 議員

**Q** 市民にとっても、建設業者にとっても大好評の住宅リフォーム補助金が、8月20日本年度の予算を使い切ったというところで応募打ち切りとなったが、その後も応募を希望する市民が多いと聞いている。そもそも年間3,000万円の予算では不足するのでは明らかであるため、今後補正予算を組んで対応すべきだと考えるがどうか。

**A** 住宅リフォーム事業については、経済効果があったという事実は誰もが認めるところである。経済状況等に不測の事態が生じた場合など、例外的に検討することはあると思うが、今年度の補正予算は考えていない。ただし、不況対策のみならず経済の活性化にもつながっているため、平成28年度以降も継続することができないか、前向きに検討している。

#### 競艇企業局の最近の経営状況と再繰入金

永尾 高宣 議員

**Q** 本年3月に新スタンドがオープンし、5月には4年ぶりとなるSGレースも開催され、売り上げも順調に推移し、純利益7億円を確保できる見通しである。また、スタンド建て替えによる欠損金約8億5,000万円も約1億5,000万円に減少している。平成29年度からの予定であった一般会計への繰り入れを、平成28年度に前倒しすることはできないか。

**A** 競艇企業局においては、行政需要に一日でも早くこたえることができるよう努力している。一般会計への繰り入れについては、局内において、いろんな角度から慎重

に協議した結果、1年前倒しをして、平成28年度から再開したい。

#### 若者に託そう おおむらの未来

神近 寛 議員

**Q** 若者への支援のあり方が今後の大村市の発展を大きく左右することは明白であるが、若者が置かれた現状の把握は未だ不十分である。そこで、若者のニーズ調査の早期実施と、就職や結婚等の悩みの相談に応じ、若者支援事業の効果的施策を推進するため、民間の専門家を含めた（仮称）「若者支援室」の設置を強く要請する。

**A** 若者の実態・ニーズ調査については、本市の未来を背負って立つ若者に対する支援は最重要課題の一つであると捉えているため、平成28年度には着手したい。また、行政における若者の悩みを解決するための部署についても、設置に向けて早急に検討したい。

#### レンタル自転車で史跡めぐり

水上 享 議員

**Q** 明治日本の産業革命遺産「軍艦島」等が世界文化遺産に登